

平成 28 年 9 月 15 日

平成 28 年度「軍縮・不拡散講座」報告

平成28年度「軍縮・不拡散調査研究」の委託事業の一環として、軍縮・不拡散の分野で今後活躍することを考えている方々のために、軍縮・不拡散をめぐる最近の動向を取り扱う「軍縮・不拡散講座」を開催しました。

受講生は、担当講師が指定する2～3本程度の論文・書籍を読んで参加しており、各講座の最後の質疑応答では、講師に対し数多くの質問をし、学びを深める場となりました。さらに懇親会での有意義な意見交換、交流で講師・受講生それぞれ友好を深めることができました。講師の先生方含め数多くの皆様のご協力、誠に有り難うございました。

【受講者】 国際機関、政府関係、マスコミ、NGO、研究機関などにおいて、軍縮・不拡散分野での活躍を考えている大学院生、助手、若手の研究者や実務担当者等の方、30名程度。

【日程】 2016年8月31日（水）～9月2日（金）の3日間

【会場】 ホテルグランドヒル市ヶ谷 西館3階「オリオン」

【講義の様子】



【時間割】

時間	講座名／講師名
8月31日(水)	
9:00～9:30	オリエンテーション 佐藤丙午 拓殖大学国際学部・海外事情研究所教授
1時限 9:40～11:00	軍縮・不拡散問題の現状と日本の政策 村上顯樹 外務省軍備管理軍縮課長
2時限 11:10～12:30	核軍備管理・軍縮 黒澤満 大阪女学院大学教授
3時限 13:30～14:50	安全保障と軍縮・軍備管理・不拡散 梅本哲也 静岡県立大学国際関係学部・国際関係学研究科教授
4時限 15:00～16:20	「核なき世界」とその後 佐藤丙午 拓殖大学国際学部・海外事情研究所教授
5時限 16:30～17:50	核不拡散への取組（IAEAの保障措置） 内藤香 一般社団法人日本技術者連盟顧問
18:00～20:00	懇親会（希望者のみ）
9月1日(木)	
1時限 9:30～10:50	原子力の平和的利用 菊地昌廣 公益財団法人核物質管理センター業務執行理事・日本軍縮学会会長
2時限 11:00～12:20	地域：北東アジアの動向 矢野義昭 拓殖大学客員教授
3時限 13:30～14:50	核兵器の非人道性 川崎哲 ピースボート共同代表
4時限 15:00～16:20	包括的核実験禁止条約（CTBT）及び核兵器用核分裂性物質生産禁止条約（FMCT） 一政祐行 防衛研究所政策研究部防衛政策研究室主任研究官
5時限 16:30～17:50	通常兵器の軍縮 南健太郎 外務省軍備管理軍縮課通常兵器室上席専門官
9月2日(金)	
1時限 9:00～10:20	生物・化学兵器問題 田中極子 防衛研究所理論研究部社会・経済研究室主任研究官（生物） 鬼塚隆志 元陸上自衛隊化学学校長（化学）
2時限 10:30～11:50	宇宙空間の利用と軍備管理・軍縮 青木節子 慶応義塾大学法科大学院教授
3時限 12:50～14:10	サイバーセキュリティ 伊東寛 経済産業省サイバーセキュリティ・情報化審議官
4時限 14:20～15:40	核セキュリティ 野呂尚子 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構核不拡散・核セキュリティ総合支援センター
5時限 15:50～17:10	地域：中東の動向 田中浩一郎 一般財団法人日本エネルギー経済研究所中東研究センター長
17:20～18:20	フリーディスカッション 佐藤丙午 拓殖大学国際学部・海外事情研究所教授 高井晋 防衛法学会理事長／東京都市大学講師

【受講生の声（一部）】

- ・ 軍縮・核不拡散という比較的抽象的なテーマについて、サイバーセキュリティや生物兵器・化学兵器など複数の具体的な領域に落とし込んでおり、具体的な取り組みについて知ることができた。条約のアウトプットは新聞でわかるが、交渉のなかに入っている方のお話を聞いて理解が深まった。
- ・ 学者、官公庁、実務家、NGO といった幅広い専門家の方々の、経験に基づいた貴重なお話を伺うことができ、大変有意義だった。アメリカでは従軍経験のある学者が多いが、日本ではあまり聞かないので、今回自衛隊のバックグラウンドをもち、現場を理解した話は収穫だった。
- ・ 会社員として働いていると、こういう理論的な話を聞くことはなかったが（外為法等のみだった）軍縮・不拡散に係わる部分で、自分がやっている仕事はどういう位置づけで、実務的にどうなっているのかを知ることがよかった。軍縮・不拡散はやや高度ではあるが、企業スタッフでも十分に聴講可能であり、また、安全保障貿易管理の背景にある世界情勢、あるいは仕組みづくり、さらには政府が抱える課題など規制内容を先取りするものであり、企業も積極的に参加すべき内容だと感じた。NGO ではないが、企業として、軍縮・不拡散そして安全保障にどのようなプレイヤーとして関わっているかをアピールすることもできると感じた。実務的な事ではサイバーセキュリティの話などは非常に面白かったので社内で展開したい。
- ・ 企業で知的財産を担当しているが、情報管理、軍事機密の管理はどうなっているのかに関心があったが、実際の査察の現場の話聞いたのは参考になってよかった。核の管理、廃絶についてはいろいろな議論の積み重ねがあり、フォローするのが大変なのだとわかった。また、いろいろな市民運動が欧州や他にあると思うが、そのような話も直接きいてみたいと思った。
- ・ 質疑応答やディスカッションが活発な時限が多く、質問も参考になり、そこから広がる話題も興味深かった。講師の先生はもちろん他の参加者の方の見解を知るという意味でも重要であり、こうした時間があつたことが講座の意義を更に高めていた。

以上